

頭を打った時の注意（成人用）

頭部を強く打撲したときは、24時間は注意しましょう。次のような症状があらわれたら、夜中でも、すぐにもう一度診察を受けて下さい。

- ・頭痛が徐々に強くなる。
- ・吐気や嘔吐がある。
- ・手足に力が入らなくなる。
- ・呼びかけても、反応が鈍い。
- ・けいれん

また頭部を打撲してすぐには異常がなくても、1ヶ月前後して頭蓋骨と脳との間に血液が貯まって脳を圧迫することがあります。**慢性硬膜下血腫**といいます。高年齢者に多くみられるので、高年齢者の場合は特に注意してください。

慢性硬膜下血腫では、以下の症状がみられます。

- ・軽度の麻痺：箸が使いにくくなる。ボタンの付け外しに時間がかかる。物をよく落とす。ちょっとした段差でもつまづき易い。真っ直ぐに歩けない。ズボンを立てはけない、よろめく等。
- ・物忘れが急に目立つようになる。
- ・頭痛はあったり、なかったりする。
- ・ご高齢のかたでは、活動性が低下して、眠りがちになる。食事に時間がかかる。食べなくなる。



慢性硬膜下血腫の患者さんの頭部CTです。この患者さんの場合、左右両側に頭蓋骨(白)と脳との間に血液が貯まって脳を圧迫しています。

夜間など時間外に受診したときは、念のため**平日の午前中**に脳外科外来を受診してください。診断書が必要なときも同様です。

ただし緊急手術などで診察できないときもあります。

診察時間 月曜～金曜 9:00～11:30、13:00～16:30

※緊急の場合はこの限りではありません

白十字病院 脳神経外科
福岡市西区石丸3-2-1
TEL 092-891-2511

2006.7.21作成
2018.2.16改定